

建築主：学校法人 山口学園
 設計：株式会社STUDIO YY
 施工：木村建設工業株式会社
 所在地：千葉市花見川区花見川6-18

～緑地と未来に向かって伸びる丘のような園舎～

丘の幼稚園（まこと第2幼稚園）



園庭側外観

園庭から丘に見立てた片流れの屋根に駆け上る園児たち。躍動感ある外観は印象深く、園児が走り回る姿が想像できる魅力的な園舎である。

この計画は団地の中にある築50年を経た幼稚園を認定こども園とする木造平家建の建替計画だ。建替前の園舎は南側の団地に向かっていて園庭の大半が団地の影となり、西側の緑地とも分断されていた。そこで西側の緑地と園庭が繋がるよう園舎を配置した。東側エントランスから「森のホール」を介してそのまま園庭につながる動線計画とし、園舎には緑地に向かって伸びる丘のような屋根をかけた。

工期と予算をクリアするため木造在来工法を採用。管理諸室は最低限の天井高とし、ホールと保育室は片流れ屋根（丘）とした。ホールの梁を方杖により隣接する保育室に分散し屋根を反りあげて外に繋がる大開口の空間としたことで園庭からは丘がせり上がったように見える。また屋根形状を活

かし、高低差を利用した重力換気による通風、冬期は高窓からの自然光を取り入れ、明るく快適な室内としている。

森のホールは式典や発表会だけでなく日常の園児たちの居場所となり、地域を結ぶ位置づけとなっている。周辺環境との兼ね合いを熟考した配置と明快な平面計画で空間に無駄がなく、園児、保育者、保護者、地域の人に受け入れられ使いこなされている印象だ。

限られた予算のため、既存什器や家具を利用しており、空間になじんでないところも見られたが、今後設計時も行われたというワークショップや園との連携で改善ができると思われる。未来に向かう丘の幼稚園の成長を期待している。

（藤本 香）



ホール内観



遊び場となっている丘の屋根
 （撮影全て/Graphy, inc.）